

在宅介護実態調査

報告書

令和2年6月



スポーツと人情が熱いまち

江東区

福祉部 介護保険課

〔 目 次 〕

1. 調査の実施概要.....	1
（1）調査の目的.....	1
（2）調査方法.....	1
（3）調査時期.....	1
（4）調査対象と有効回収数.....	1
（5）回答者の属性.....	1
2. 調査対象要介護高齢者の属性.....	2
（1）年齢.....	2
（2）要介護度.....	2
（3）性別.....	2
3. A票 基本調査項目.....	3
（1）世帯構成.....	3
（2）介護の頻度.....	3
（3）介護者.....	3
（4）介護者の性別.....	4
（5）介護者の年齢.....	4
（6）介護者が行っている介護.....	5
（7）介護離職.....	5
（8）現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス.....	6
（9）在宅生活に必要と感じる支援・サービス.....	6
（10）施設等への入所・入居の検討状況.....	7
（11）本人の傷病.....	7
（12）訪問診療.....	8
（13）介護保険サービスの利用.....	8
（14）介護保険サービスを利用しない理由.....	8
4. B票 主な介護者への調査項目.....	9
（1）介護者の勤務形態.....	9
（2）介護者の働き方の調整.....	9
（3）勤め先からの支援.....	10
（4）介護者の就労の継続.....	10
（5）介護者が不安に感じる介護等.....	11

1. 調査の実施概要

(1) 調査の目的

第8期介護保険事業計画の策定にあたって、「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を盛り込むため、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的としています。

(2) 調査方法

認定調査員による聞き取り調査

「在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける方」を対象とし、江東区では、認定調査員による聞き取り調査方式で調査を行いました。

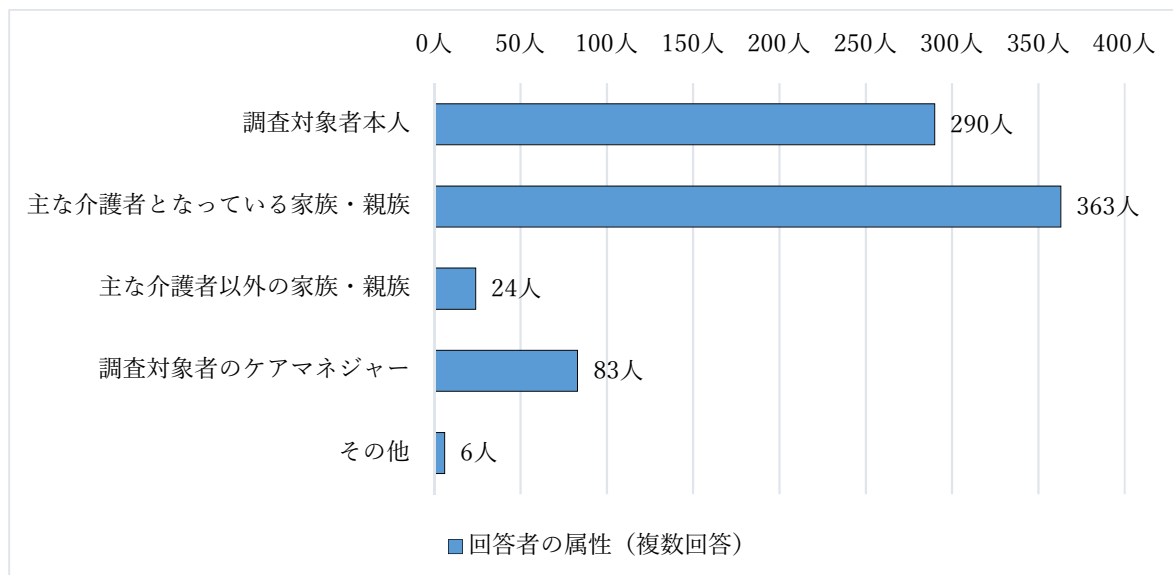
(3) 調査時期

令和元年5月7日（火）～12月19日（木）

(4) 調査対象と有効回収数

調査票の回収数	655件
最終的な有効回答数	638件

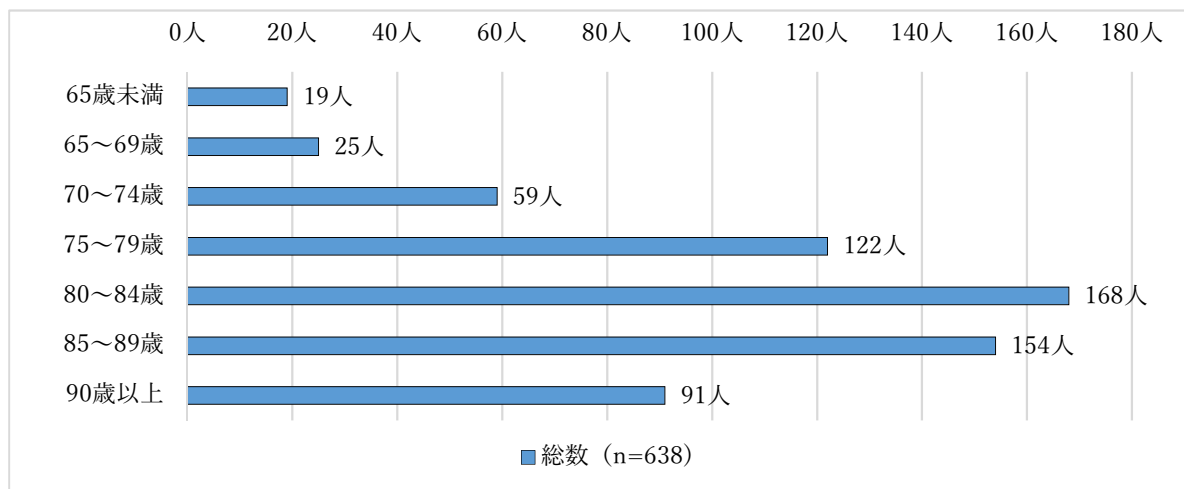
(5) 回答者の属性



2. 調査対象要介護高齢者の属性

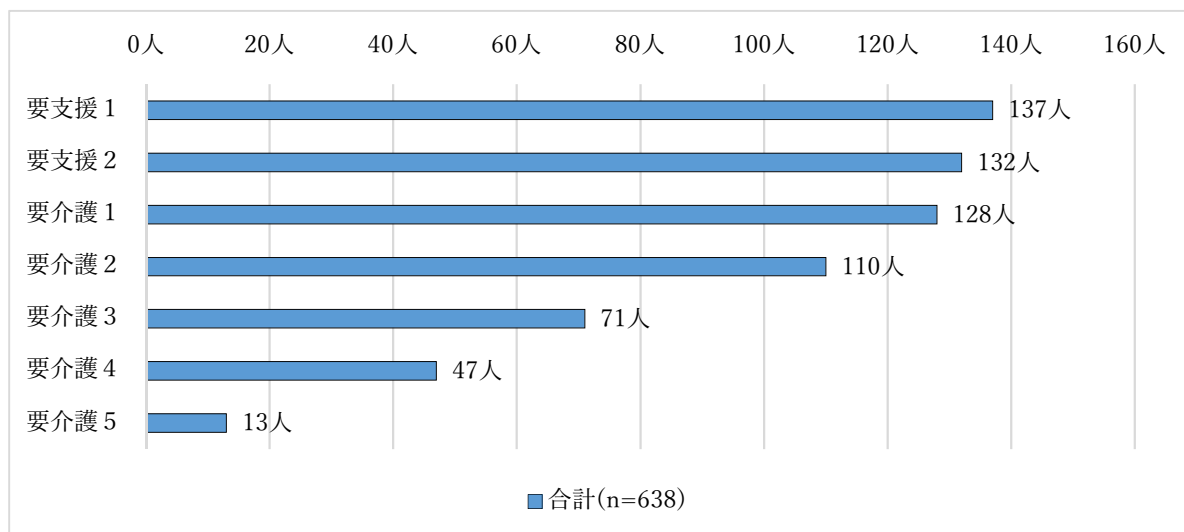
(1) 年齢

回答者は80-84歳の168人がもっとも多く、次いで85-89歳の154人、75-79歳の122人が続いています。75歳以上の後期高齢者が83.9%を占めています。



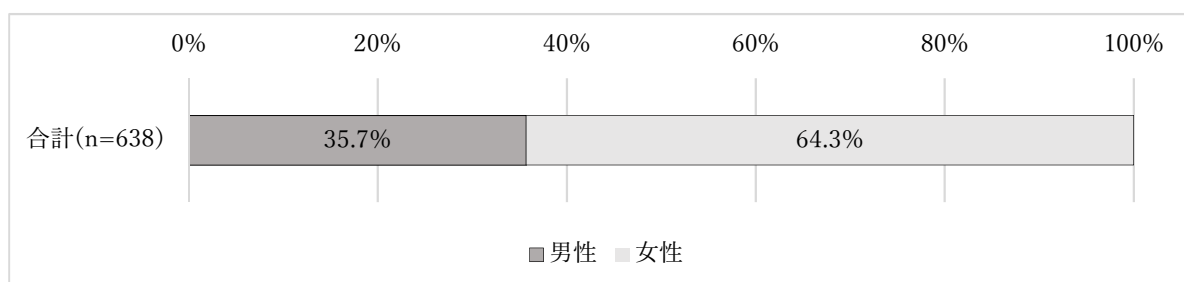
(2) 要介護度

回答者の要介護度は「要支援1」が137人でもっとも多く、次いで「要支援2」の132人、「要介護1」の128人が続きます。



(3) 性別

回答者の性別は、女性が64.3%、男性が35.7%です。

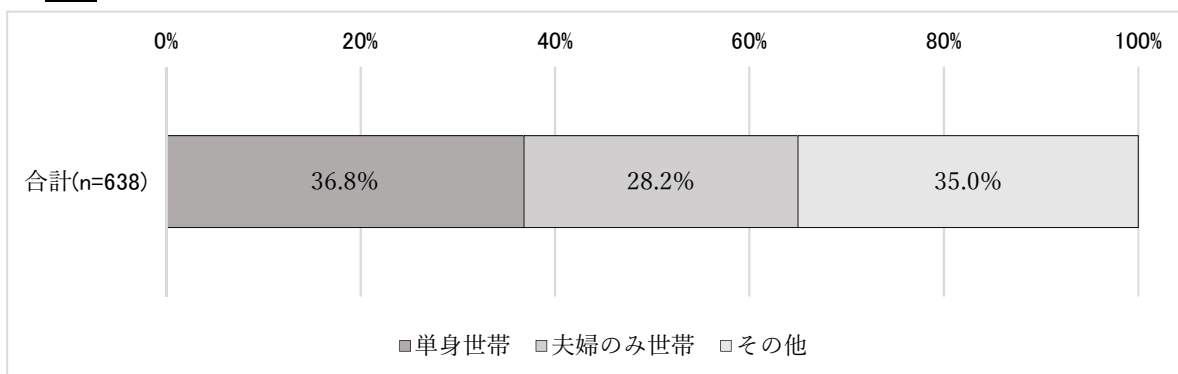


3. A票 基本調査項目

(1) 世帯構成

回答者の世帯構成は、単身世帯が36.8%でもっとも多く、以下その他35.0%、夫婦のみ世帯28.2%となっています。

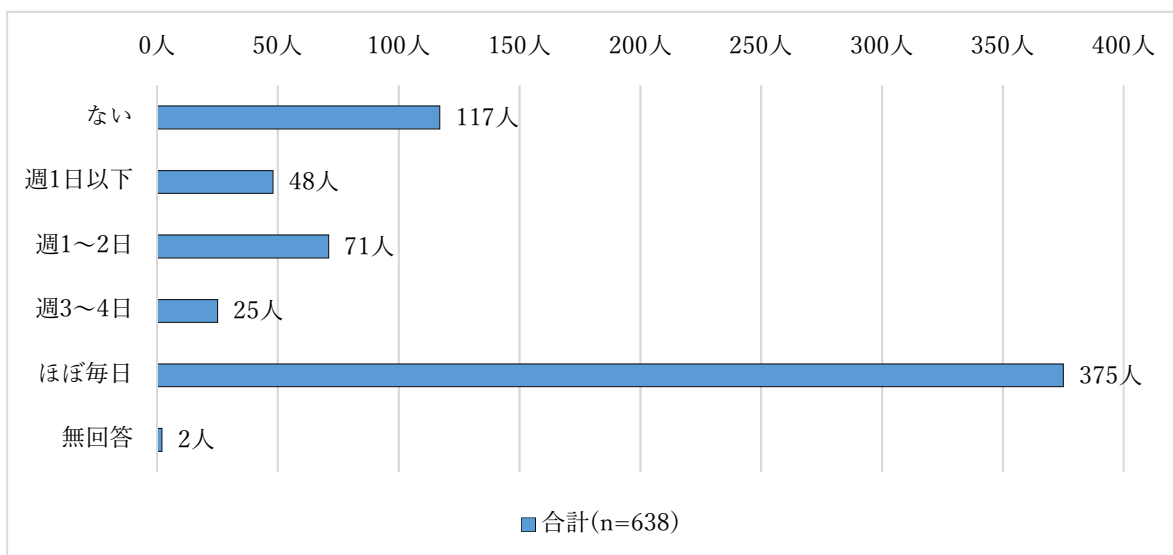
問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)



(2) 介護の頻度

家族・親族からの介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が375人で58.8%を占める一方、「ない」がそれに次ぎ、117人、18.3%を占めます。

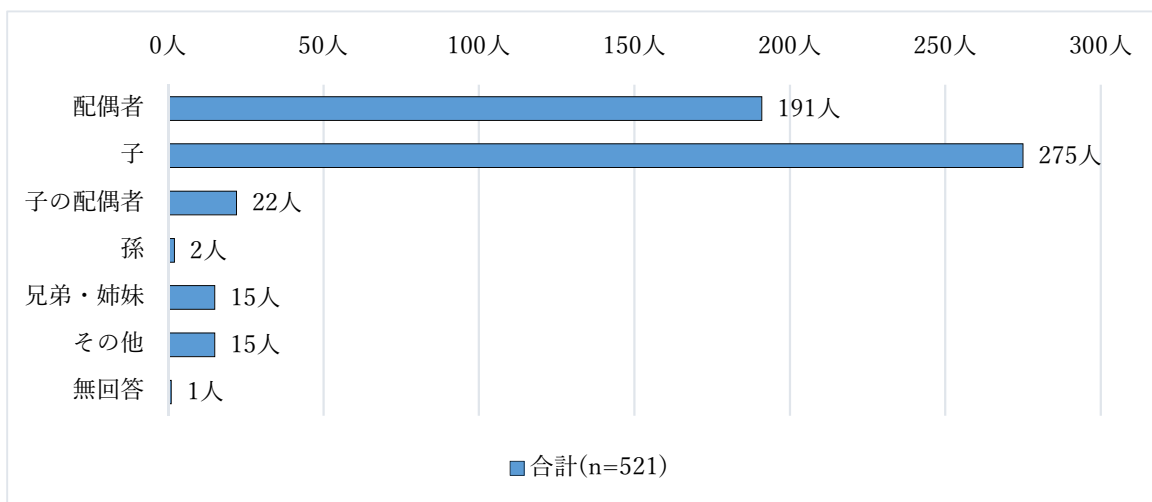
問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)



(3) 介護者

主な介護者は、「子」が275人で最も多く、52.8%を占めます。次いで「配偶者」(191人)が36.7%を占め、それ以外は約10%となっています。

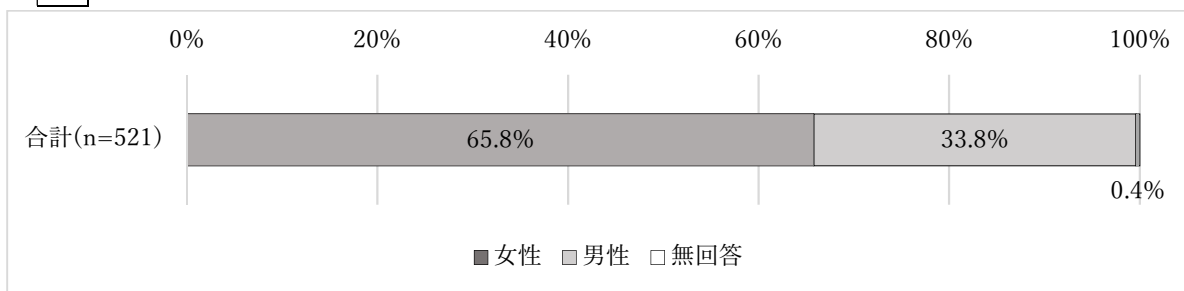
問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)



(4) 介護者の性別

主な介護者の性別については、女性が65.8%、男性が33.8%で、女性が多数です。

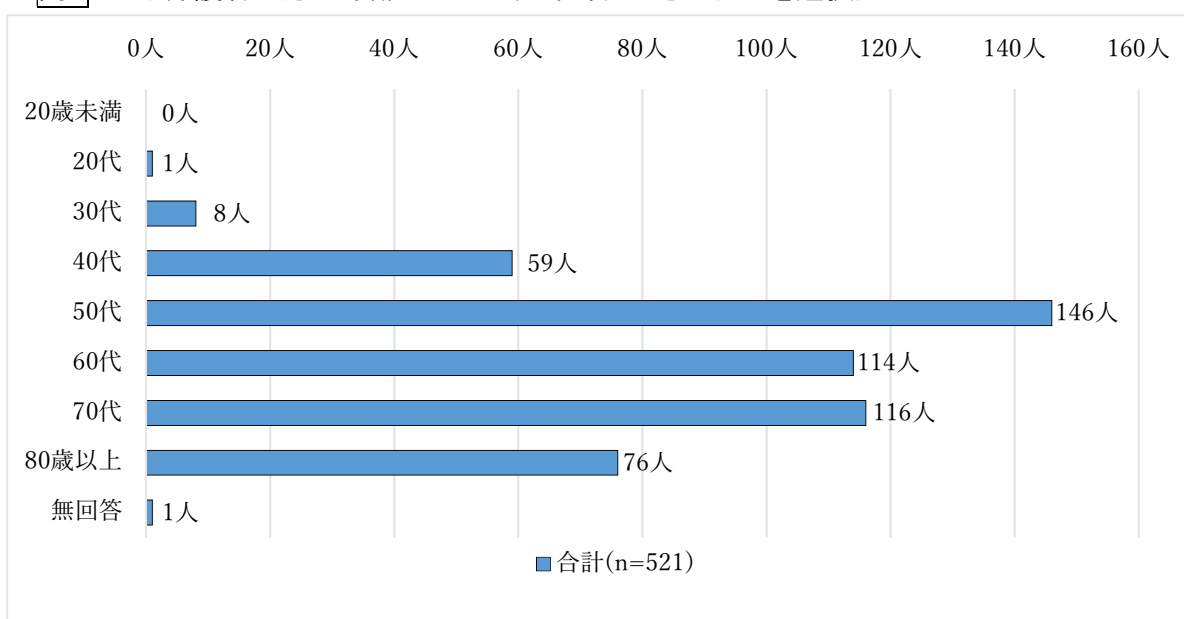
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)



(5) 介護者の年齢

主な介護者の年齢は、50代が146人で最も多く、次いで70代116人、60代114人が続き、80歳以上も76人います。60歳以上が全体の58.7%を占めています。

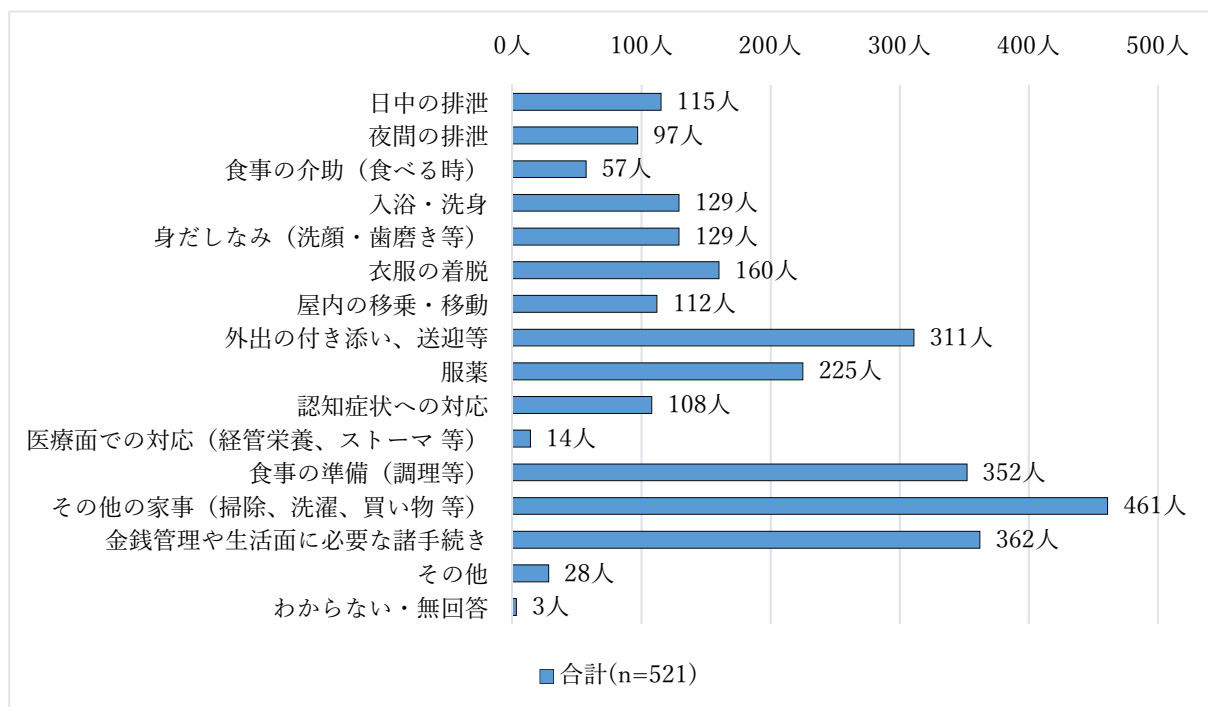
問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)



(6) 介護者が行っている介護

主な介護者が行っている介護等をみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）が461人で最も多く、全体の88.5%が行っています。以下、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が362人（69.5%）、「食事の準備（調理等）」352人（67.6%）、「外出の付き添い、送迎等」311人（59.7%）が過半数の介護者が行っていると回答しています。

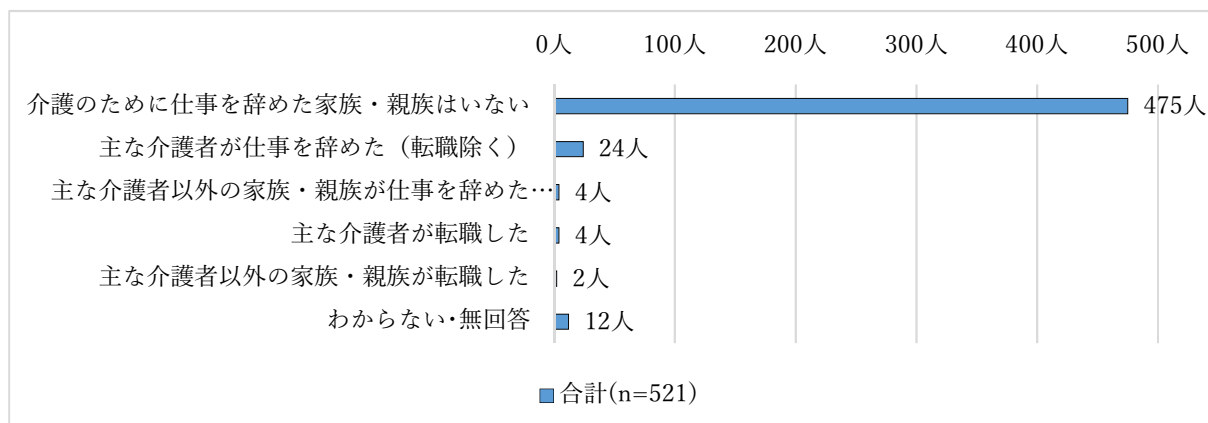
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）



(7) 介護離職

家族・親族からの介護がある方で、介護を主な理由として仕事を辞めた方がいるかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が475人で全体の91.2%を占め、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が24人（4.6%）となっています。大多数の介護者が、介護離職はしていないことが読み取れます。

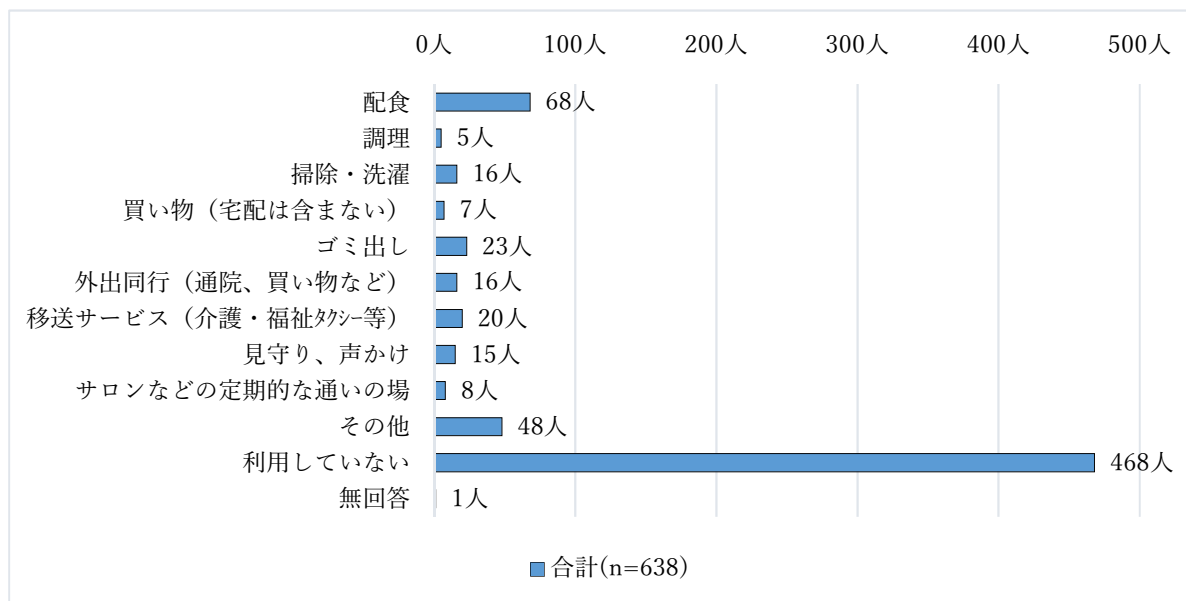
問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）



(8) 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス

現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、「利用していない」が468人、73.4%を占めて最も多くなっています。サービスを利用している中では「配食」68人が最多、次いで「ゴミ出し」23人が続いています。

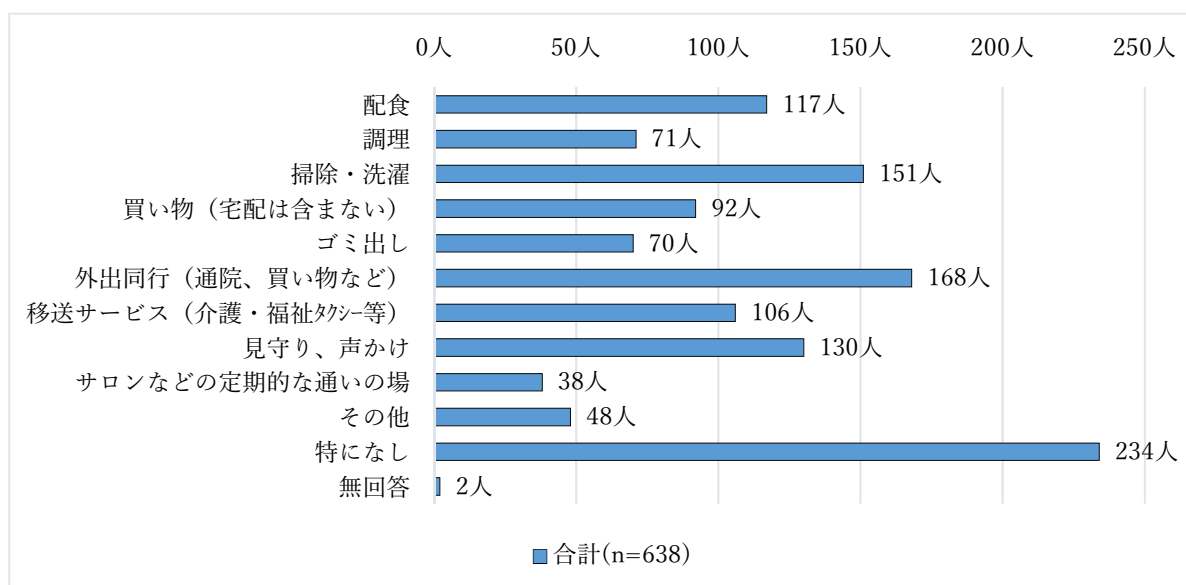
問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
(複数選択可)



(9) 在宅生活に必要と感じる支援・サービス

在宅生活に必要と感じる支援・サービスは「特になし」が234人で最多ですが、その割合は36.7%であり、何らかの支援・サービスの希望がある人が多いことが読み取れます。具体的なサービスの希望としては、「外出同行 (通院、買い物など)」が168人で最も多く、次いで「掃除・洗濯」151人、「見守り、声かけ」130人などが続いています。

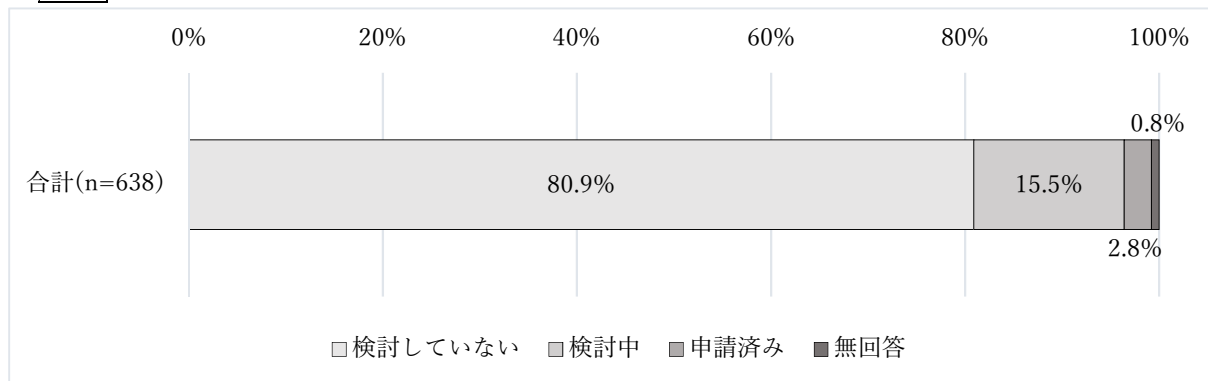
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)



(10) 施設等への入所・入居の検討状況

施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が80.9%で大半を占め、次いで「入所・入居を検討している」15.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」2.8%が続いています。

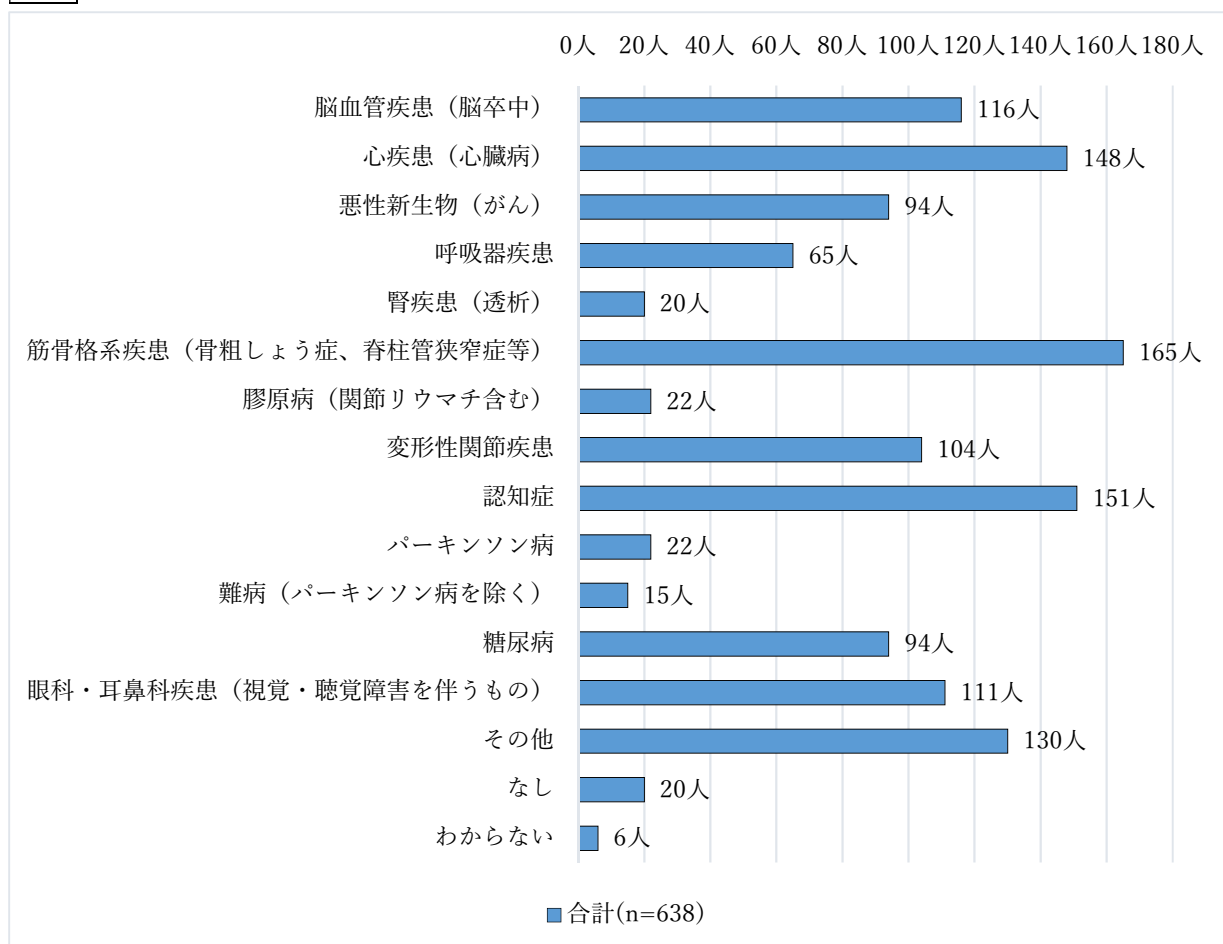
問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)



(11) 本人の傷病

ご本人(認定調査対象者)が現在抱えている傷病については、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が165人でもっとも多く、次いで「認知症」151人、「心疾患(心臓病)」148人が続いています。

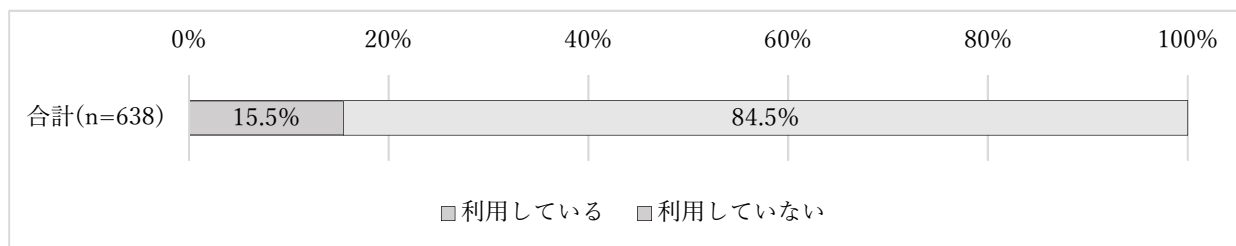
問 11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)



(12) 訪問診療

訪問診療を利用しているのは 15.5%となっています。

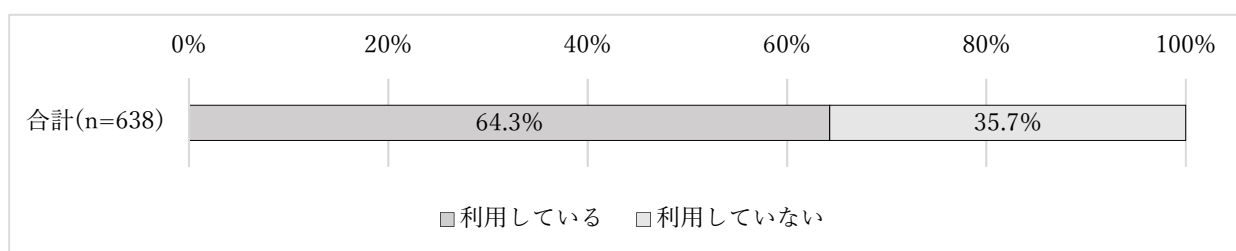
問 12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)



(13) 介護保険サービスの利用

介護保険サービスの利用の有無については、全体の 64.3%が「利用している」と回答しています。

問 13 現在、介護保険サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く)を利用していますか(1つを選択)

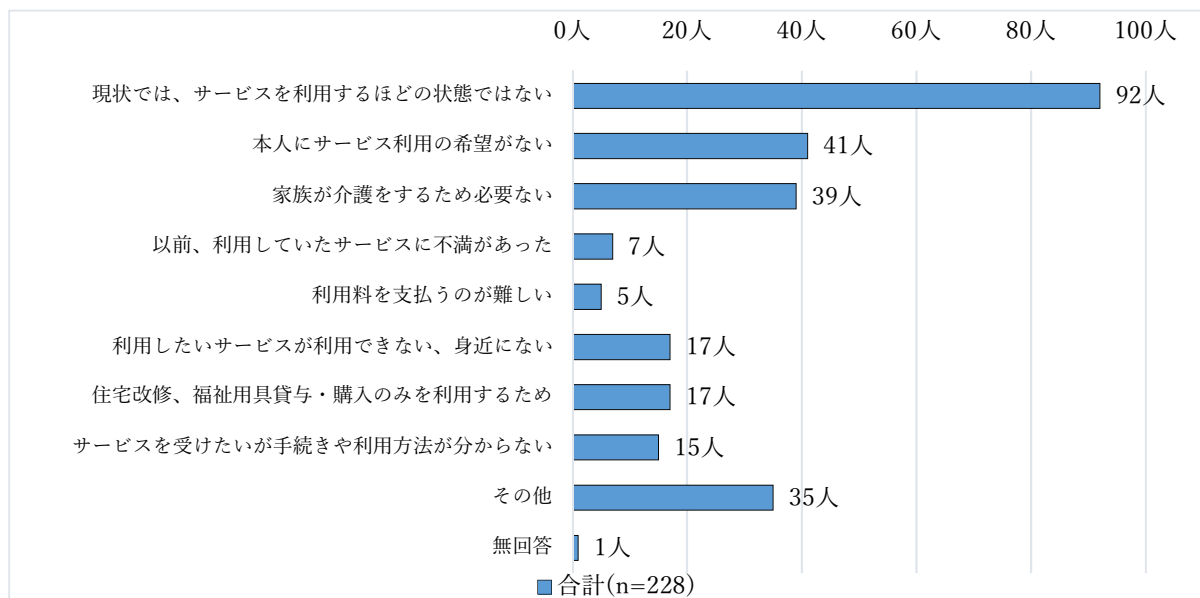


※アンケート回答結果を集計したものであり、実際の介護利用状況とは不整合があります。

(14) 介護保険サービスを利用しない理由

介護保険サービスを利用しない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 92 人で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 41 人、「家族が介護をするため必要ない」39 人が続いています。

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

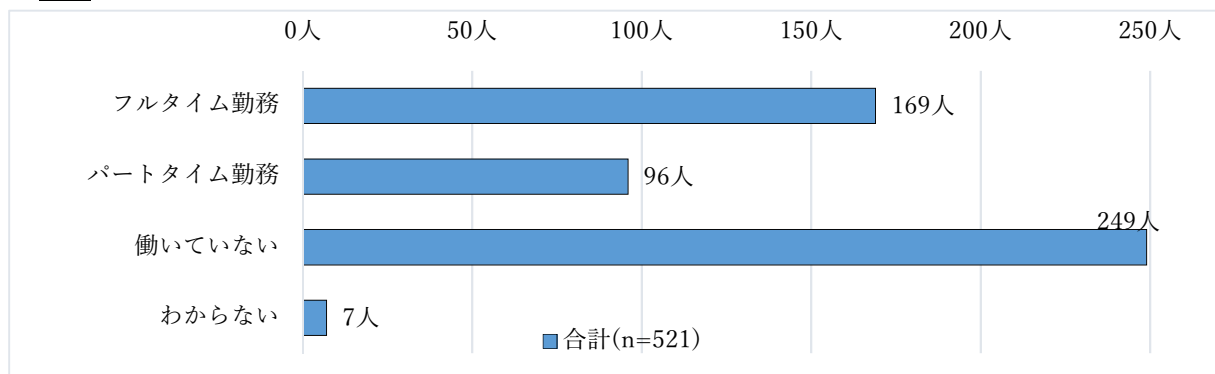


4. B票 主な介護者への調査項目

(1) 介護者の勤務形態

主な介護者の勤務形態は、「働いていない」が249人と最も多く、47.8%を占めます。次いで「フルタイムで働いている」(169人)、「パートタイムで働いている」(96人)などが続きます。

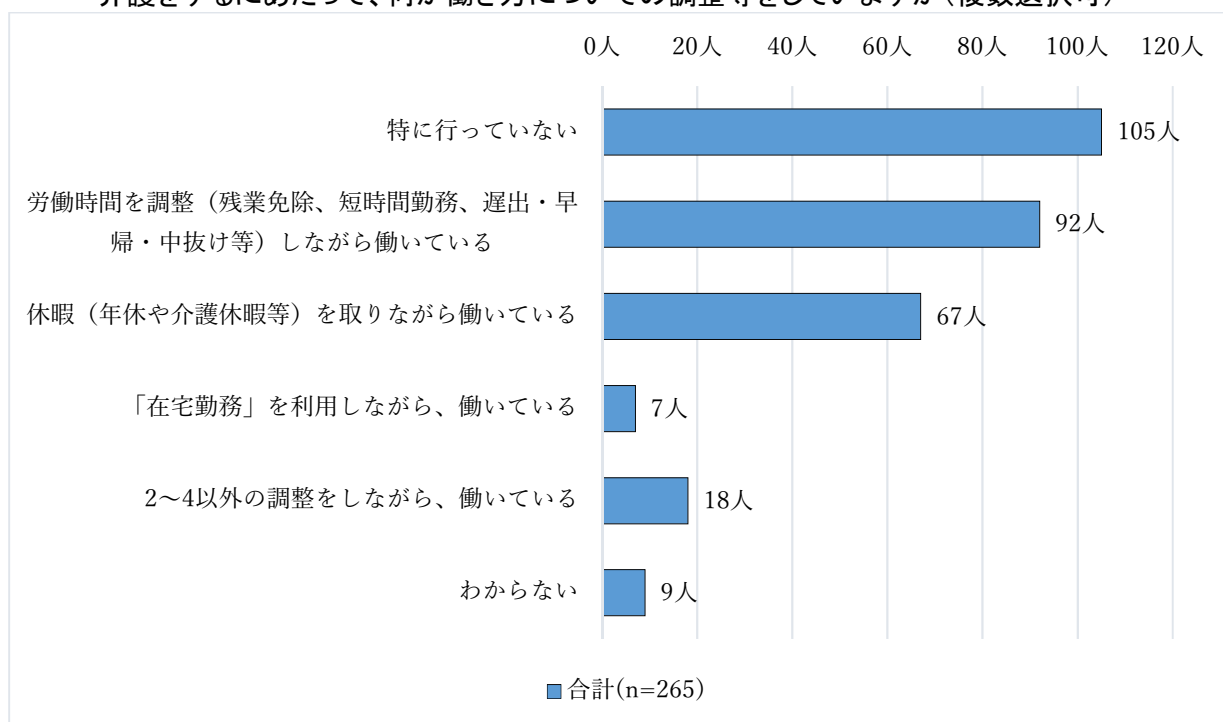
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)



(2) 介護者の働き方の調整

主な介護者が介護をするにあたって行っている働き方の調整等は、「1. 特に行っていない」が105人と最も多く、次いで「2. 労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら、働いている」が92人、「3. 休暇(年休や介護休暇等)を取りながら、働いている」が67人となっています。「何らかの工夫をしながら働いている」という回答が、全回答の6割程度を占めています。

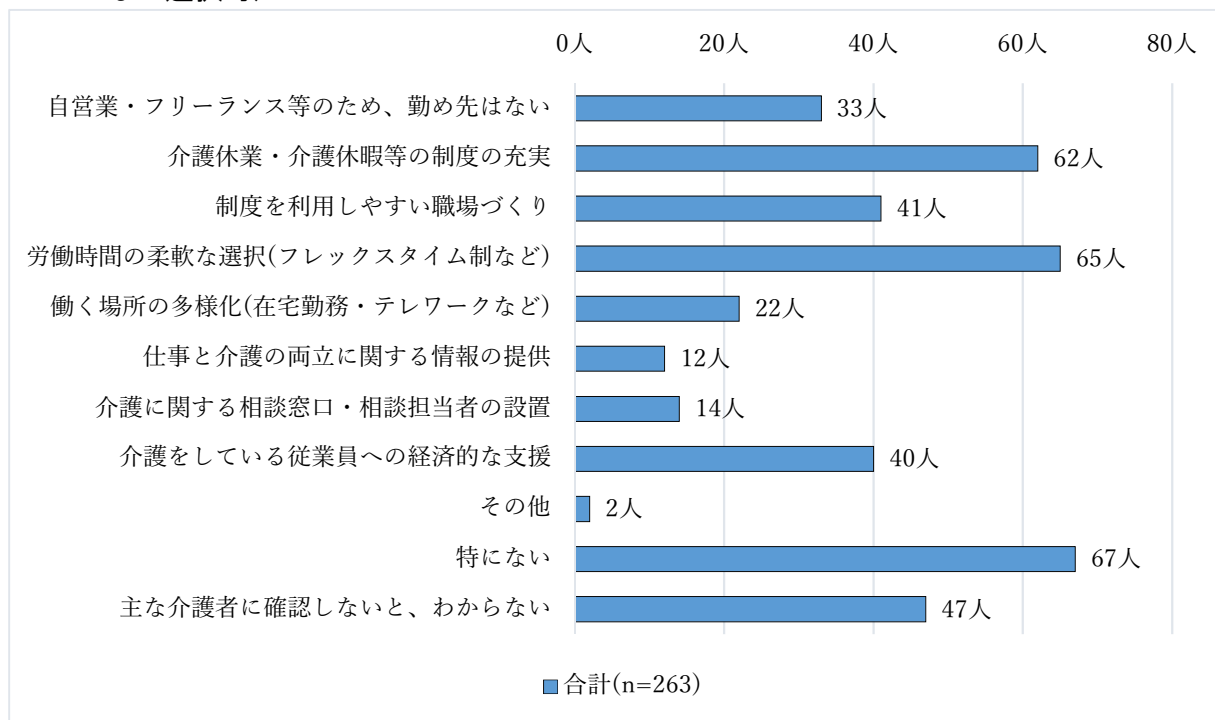
問2 問1で「1. フルタイム」「2. パートタイム」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)



(3) 勤め先からの支援

主な介護者が、仕事と介護の両立に効果があると考えている勤め先からの支援は、「特にない」が67人でもっとも多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」65人、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」62人が続きます。

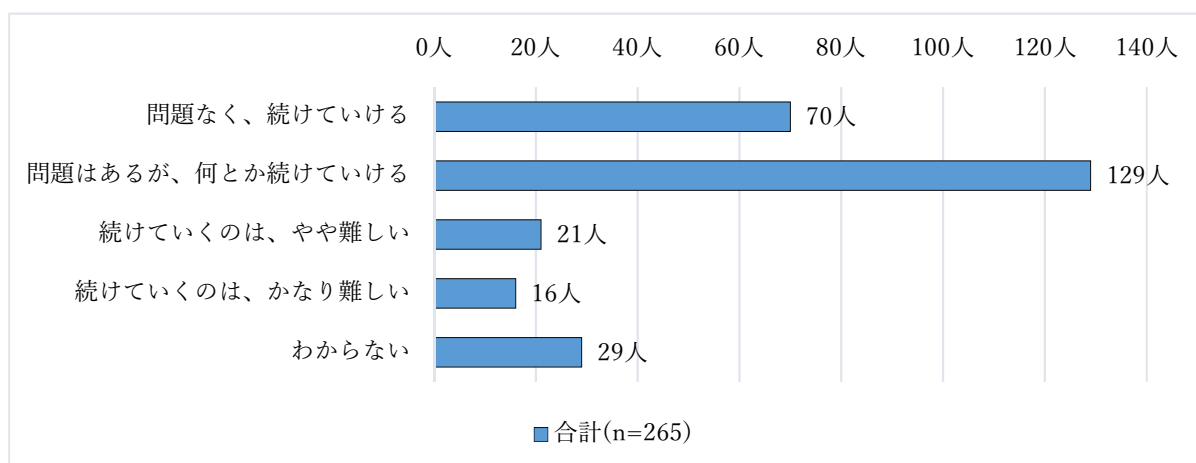
問3 問1で「1. フルタイム」「2. パートタイム」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)



(4) 介護者の就労の継続

主な介護者が、今後も働きながら介護を続けていけそうかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が129人で最も多く、次いで、「問題なく、続けていける」70人、「わからない」29人が続きます。

問4 問1で「1. フルタイム」「2. パートタイム」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)



(5) 介護者が不安に感じる介護等

現在の生活を継続していくにあたって主な介護者が不安に感じる介護等は、「認知症状への対応」と「外出の付き添い、送迎等」がともに145人で最も高く、次いで「夜間の排泄」(101人)が続きます。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

